

30日死者統計

1 30日死者の状況

(1) 県下と全国の発生状況

○ 県下

死者	区分	6 月中		6 月末			
		増 減	比 率	増 減	比 率		
	24時間死者	10	+9	1.00	54	+14	1.00
	30日死者	4	+2	0.40	18	-1	0.33
	30日以内死者	14	+11	1.40	72	+13	1.33

○ 全国

死者	区分	5 月中		5 月末			
		増 減	比 率	増 減	比 率		
	24時間死者	206	-2	1.00	984	-21	1.00
	30日死者	44	-7	0.21	208	-13	0.21
	30日以内死者	250	-9	1.21	1,192	-34	1.21

注：1 「30日死者」とは、事故発生から24時間経過後30日以内に死亡した人をいう。

2 「30日以内死者」とは、「24時間死者」と「30日死者」の合計で、警察統計の交通事故全死者をいう。

3 比率とは、「24時間死者」に対する比率で、「24時間死者」の〇〇倍と表す。

(2) 概要

6月末の県下の「30日死者」は18人（-1人）、「24時間死者」は54人（+14人）で、これらをあわせた「30日以内死者」は72人（+13人）であり、「24時間死者」の1.33倍となっている。

(3) 特徴（30日死者の構成率）

- 地区別 阪神6人（33.3%）、神戸4人（22.2%）、東播3人（16.7%）、西播3人（16.7%）、高速2人（11.1%）で発生している。
- 状態別 歩行中10人（55.6%）、自動車乗車中3人（16.7%）、自動二輪乗車中3人（16.7%）、自転車乗用中2人（11.1%）となっている。
- 年齢層別 65歳以上が12人（66.7%）、25～64歳が5人（27.8%）、16～24歳が1人（5.6%）となっている。
- 経過日数別 10日以内の死亡が11人（61.1%）となっている。
- 損傷部位別 頭部の損傷が12人で、66.7%となっている。